

皆さんの声を議会へ



当市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関から報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、10名の議員が質問しました。その一部をお知らせいたします。

質問者	質問項目
木下八重子 (会派みどり)	市政執行方針の進捗状況
安楽 良幸 (新政会)	国民保護に関する訓練の実施 災害発生時を想定した防災ラジオ試験放送 災害指揮所図上訓練の実施
荒木 文一 (会派清新)	公務員の定年延長 マイナンバー制度 マイナンバーカード取得のメリット マイナンバーカード取得に関する個人情報の取り扱い GIGAスクール構想の現状と未来
柴田 文男 (会派清新)	人口減少社会におけるまちづくり 都市整備に伴う用地確保
山口 清悦 (会派みどり)	おくやみハンドブック 市営墓地内の墓じまい 滝の川運動公園の活用
寄谷 猛男 (共産党)	世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との関わり 安倍晋三元首相の国葬に際する弔意表明等 自衛隊札幌地方協力本部に対する募集対象者の情報提供の状況 フードバンク活動の支援 不在者投票の不正防止対策 期日前投票所の利便性の向上
佐々木和代 (新政会)	コロナウイルスワクチンの接種率向上 タブレット端末の使用状況 市民交流プラザの使用状況と課題
東元 勝己 (会派清新)	江部乙中学校と江陵中学校の統合による影響 インクルーシブ教育
三上 裕久 (公明党)	新滝川市総合計画 公共施設個別施設計画 新たなふるさと納税の取り組み 市職員の離職状況 保育所や幼稚園に通えていない小学校に上がる前の子どもの実態把握 発熱外来の体制強化 スカイワーケーション推進事業の進捗状況 労働者協同組合法の施行に伴う取り組み 開西団地再編の進捗状況 全国学力・学習状況調査を踏まえた対応 各種選挙における投票所の入場
水口 典一 (会派清新)	職員研修に関する経費の推移と必要性 財政指標の改善 積極的な財政運営

第3回定例会 一般質問から

市政執行方針の進捗状況について

木下八重子（会派みどり）



問 令和4年度も残すところあと半年となり、市政執行方針に示された7つの柱に基づいて各施策が執行されてきているが、事業推進における現状と課題について伺う。

答 市政執行方針に掲げる事業の進捗状況につきましては、本年4月より半年が経過するところであり、現在、各所管においては事業を進めているところです。いまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあります。引き続き、感染防止対策を講じながら、残りの期間におきましても、着実に事業を実施していきます。



国民保護に関する訓練の実施について

安樂 良幸（新政会）



問 ロシアや中国、そして北朝鮮の軍事行動が活発化する中、10月中旬に滝川市と自衛隊・警察など関係機関が連携した国民保護訓練が計画されているが、概要について伺う。

答 我が国の安全保障を取り巻く環境は極めて厳しい状況であり、市民の生命、財産を守っていくため、自治体として一定の準備の必要性を感じているところです。そのような緊迫した世界情勢の中、陸上自衛隊北部方面総監から北海道に対して国民保護に係る訓練の実施について要請がなされ、今回訓練実施を申し入れたところです。こうした経緯から、現在、自衛隊の指導のもと、弾道ミサイル攻撃を想定した訓練を予定し、市をはじめ北海道や警察、消防など連携を図りながら準備を進めています。詳細については協議中ですが、市民にもご参加をいただき関係機関と協力しながら市民の生命を守る体制を構築したいと考えています。

問 自衛隊車両による住民の避難輸送についての考えを伺う。

答 まだ協議中ですが、そのような訓練もぜひ織り込んでいきたいと考えています。

マイナンバーカード取得について

荒木 文一（会派清新）



問 改めてカード取得のメリットと今後の普及に向けた方策について伺う。

答 メリットとしては、写真付き身分証明としての利用、介護保険申請や子育て手続きの簡略化、年金手続きの簡素化等が挙げられます。今後の普及方策につきましては、企業訪問はもちろん町内会などの少人数の集まりでも出張申請を可能とし、広報誌、FMG'Sky、町内会回覧などを通じて今まで以上に周知します。なお、議員からご指摘のありました各種証明書等のコンビニ交付につきましては、今後の導入について検討していきたいと思っております。

問 カード取得に関する個人情報の取り扱いについてどのようにしているのか、例えば個人口座と紐づけた際に、当該自治体が資産情報を得ることが可能なのかを伺う。

答 カード自体に資産、税金などプライバシー性の高い情報は入っていません。マイナンバーの利用範囲、収集・保管などは法令で厳しく制限されており、職員は当該手続きに必要な情報にしかアクセスできません。なお個人情報は一元管理する仕組みではないため、芋づる式に情報が漏れる心配はありません。

人口減少社会におけるまちづくりについて

柴田 文男（会派清新）



問 少子高齢化、負の人口動態により、本市の人口はピーク時より30%の減少となっている。今後のまちづくりにおいて、改めてこの問題にどう対処し、膨張する市民負担の軽減にどう取り組むのかを伺う。

答 議員ご指摘のとおり、今後さらなる人口減少により税収の落ち込みや、高齢化による医療や福祉ニーズの高まり、さらに市民負担や行政負担の増加が見込まれ、道路や公園、上下水道などのインフラや公共施設の維持についても、市民一人当たりの負担の増加が懸念されています。

人口減少化において、人口ピーク時と同様の市政運営を行うことは困難であり、人口規模に応じたまちづくりを進めていくことが必要不可欠です。

現在、新たな総合計画を含む3つの計画を策定中であり、人口減少を最小限に抑えながら、一定の人口密度を維持し、生活の利便性を確保しつつ、効率的でコンパクトな街をつくるために老朽化した公共施設の再編と集約化を進めるなどの準備作業を行っているところです。人口の減少を見据えたまちづくりを総合的に推進し、より少ない市民負担で、安心して暮らすことができる滝川市を目指していきます。

第3回定例会 一般質問から

おくやみハンドブックについて

山口 清悦（会派みどり）



問 10月発行予定のおくやみハンドブックの内容と今後の展望について伺う。また、昨年の第4回市議会定例会での私の一般質問要旨の到達点は、手続き全てを一本化したおくやみ窓口の設置であり、今一度市長の考えを伺う。

答 死亡時には多くの行政手続きが必要となり、遺族の方は市役所の各窓口へ案内されて手続きを行っていますが、この度、必要な手続きが一つの冊子で確認できる「おくやみハンドブック」を作成しました。遺族にとっては手続きの負担軽減や手続き漏れを防ぐことが期待され、市としましても手続きの効率化や市民サービスの向上に繋がるものとなります。ハンドブックは死亡のお届けをいただいた際に市民課窓口または江部乙支所でお渡しします。ご希望があれば生前に手続きについて知りたい方にもお渡しします。おくやみ窓口の設置につきましてもは、取り扱い業務が複数課に渡るため、専用スペースの確保やシステムの整備、人員の確保、所管との連携の確立など、全庁的に検討するべき様々な課題があります。今回のおくやみハンドブックのように、窓口設置以外でも市民の負担を減らす方法について引き続き検討していきます。

自衛官等の募集対象者にかかる個人情報の提供について

寄谷 猛男（共産党）



問 誰が、どのような目的で、どのような情報を閲覧したのかが分かるよう住民基本台帳の閲覧状況は毎年公表される。自衛官等の募集対象者の情報を掲載した資料を自衛隊札幌地方協力本部の求めに応じて提供する場合も、同じように公表すべきではないのか。また、自衛隊への情報提供を望まない対象者の除外申請の受付について市の考えを伺う。

答 自衛隊札幌地方協力本部への資料提供については、市議会の委員会等でも報告しています。また、毎年度定期的な求めに応じて実施するものであり、不特定多数の方が随時の申請によって行う住民基本台帳の閲覧とは性質が異なるものと考えています。そのため公表することは考えていません。また、あらかじめ提供する名簿から自らの情報を除外するよう申請できる制度については、住民基本台帳法に基づく閲覧請求をはじめその他法令に基づく個人情報の提供依頼への対応に際し対象者から事前の除外の申し出を受け付けるような措置はとられていないことから、現時点ではこの件に関して特別な措置を実施することは考えていません。しかし、今後他自治体等の動向を注視しながらその必要性等については検討したいと考えています。

コロナウイルスワクチンの接種率向上について

佐々木和代（新政会）



問 若年層へのコロナウイルスワクチン接種率向上に向けた取り組みについて伺う。

答 若年層の接種率向上のため、12歳以上の接種対象者のうち、接種や予約を行っていない全ての個人宛に勧奨通知を送りました。また、12歳以上の3回目未接種者全員に勧奨通知を送付したほか、広報紙に接種勧奨チラシを折り込むとともに、FMG'Skyにおいて1日2回のCM放送や市公式ホームページ、SNSを活用した情報発信を行いました。また、夏休み以降は土曜日と17時以降の予約枠を増やす等、接種体制の拡充に努めています。

問 現状ではなかなか接種率が上がっていないが、土日、夜間の集団接種の実施など市民が接種を受けやすい環境づくりや、他市町村で行っている抽選による景品等を付与する考えがないか伺う。

答 オミクロン株対応のワクチン接種も始まり、接種対象者が多分類になるので、接種できる医療機関の分散や組み合わせを考え、土日夜間の接種についても医療機関に打診しています。なお、景品に関しては一般財源からの支出となるため、現段階では考えていません。

江部乙中学校と江陵中学校の統合による生徒への影響について

東元 勝己（会派清新）



問 4月から江部乙中学校が江陵中学校と統合されたことによる生徒への影響・問題等を伺う。

答 教育長・教育部長による学校訪問、指導主事による教育指導訪問等を通じて、直接教育活動の様子を参観し実態を把握するとともに、管理職からのヒアリングや教育支援専門員による不登校等の生徒指導に特化した指導状況の聞き取りなどを通じ、統合後の学校の状況などについて把握しています。江部乙地区では、スクールバス通学に切り替わったため、登下校にかかる時間が長くなった生徒もいますが、大きな問題はないものと認識しています。統合に向けてはコロナ禍の影響もありますが、昨年度までに行ったオンラインを活用しての両校生徒の交流や学級編成上の配慮を行うことにより、大きな抵抗感を感じることなく、部活動に積極的に参加するなど集団に溶け込もうと前向きに学校生活に取り組んでいます。一方で、新たな環境に馴染むのに時間を要している生徒もおり、学校からの支援とともに、適応指導教室の活用やスクールソーシャルワーカーとの連携などで本人の状況に合わせた支援を行い、学校に通うことができるようサポートを続けています。

第3回定例会 一般質問から

開西団地の再編事業に伴う民間住宅の進捗状況について

三上 裕久（公明党）



問 平成30年3月に策定された公営住宅等長寿命化計画において既存住宅を活用した民間事業者によるサービス付き高齢者住宅（4棟32戸）と子育て支援住宅（5棟12戸）は、低家賃で入居できということで市民の皆さんから大いに期待されているところだが、現状の進捗状況を伺う。

答 令和元年6月の事業候補者選定後、新型コロナウイルス感染症の世界的流行やロシアのウクライナ侵攻等、計画策定時に予想できなかった要因により社会情勢が大きく変化し、資材高騰などから事業に未だ着手できない状況にあります。今現在、実施可能か否かの最終調整を事業者と行っているところです。

問 仮に、事業者が建設を断念した場合は、市外への公募や施設自体を本市で建設し、運営を民間に行ってもらおう公設民営の手法を検討すべきと考えるが見解を伺う。

答 仮に、現事業者での実施が不可能と判断した際は、再度、市内事業者から市外事業者まで応募枠を広げ、公募していきます。さらに、ご提案をいただいた公設民営での募集もあわせて検討していきます。

積極的な財政運営について

水口 典一（会派清新）



問 第2期財政健全化計画により、近年は財政指標などから改善が見て取れる。現時点で、財政状況についてどのように考えるか見解を伺う。

答 事務事業や組織・人件費の見直しを図った結果、計画策定前に比べ大きく改善しました。今後は公共施設の集約・複合化などの大型事業が控えていますが、新たな課題に進んでいけるだけの財政的な下地・体力はある程度整ったと考えています。

問 市民サービス向上のため、積極的な財政支出をすべきと考えるが、見解を伺う。

答 持続可能な行政運営を行っていくため、財政の健全性を維持することは重要だと考えています。施策決定においては、現時点における財政基盤を基に十分に検討し、市民の皆様にも有効に適切に還元できるよう努めていく考えです。

問 職員のスキルアップに必要な研修の予算は、一定程度確保すべきと考えるが、見解を伺う。

答 職員研修は勤務能率の発揮及び促進のみならず、他市町村の職員との交流など、職員のモチベーションに資するものと考えています。引き続き、多くの職員が研修を受講できるよう努めていきます。

滝川市議会では、議員の知識向上や政策立案・政策提言等の能力向上を目的に新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、様々な研修会を実施しています。

議員活動の紹介 Topics

滝川市議会議員会・滝川商工会議所議員会合同研修会を開催

8月4日（木）、3年ぶりとなる両議員会合同研修会を開催しました。当日は、自衛隊滝川駐屯地や滝川スポーツ協会からの参加者も含め、総勢55名の方にご参加いただき、滝川市美術自然史館特別展「石油ヲ造レ-東洋一の人造石油滝川工場」の視察をとおり、滝川の歴史を語るうえで欠かせない史実について学びました。



滝川市議会議員会研修会を開催

9月26日（月）、27日（火）の2日間にわたり、議員15名が室蘭市および白老町で研修会を行いました。室蘭市では、市民活動機能、図書機能、子育て機能などを備え、人づくり、絆づくりを通じて地域づくりを実践する生涯学習センター「きらん」を視察しました。また、白老町では、先住民アイヌを主題とした日本初の国立博物館「民族共生象徴空間（ウポポイ）」を訪れ、アイヌ文化についての見聞を深めました。



▲生涯学習センター「きらん」



▲民族共生象徴空間（ウポポイ）